

# 町の考えを聞く



本木敏明議員

## 集団移転

### 住居以外の買い上げは 可能の見通し

**質問** 町は計画の中で、防災集団移転事業に伴い、地権者が土地の買い上げを希望した場合、住居部分だけでなく専用店舗や駐車場への拡大を国へ要望しているが、その可能性は。

**沼崎町長** 大型の店舗や工場は難しいが、中小のもの買い上げは可能の方向へ向かっているものと思う。

**質問** 買い上げの可能性が出てきたことは大いに歓迎するが、それにより買い上げ単価が下がることはないか。

**沼崎復興推進課長** 買い上

げ範囲の拡大により単価が下がることはないが、宅地や農地、原野などのおおのの評価の違いは従来どおりである。

**質問** 買い上げ価格の参考になる町内の標準価格が先ごろ県から示された。買い上げ時期が遅くなるほど評価が下がる心配はないか。

**沼崎復興推進課長** 全国的な地価の下落傾向で下がることはあると思うが、大幅に下がることは想定していない。遅くても平成25年度中には買い上げを始めた

## 土地利用

### 町中心部の計画は

### まだ決まっていない

**質問** 町中心部の国道45号沿いの土地利用計画の具体案を早く示すべきでは。

**沼崎町長** JRの問題、国道、防潮堤など関係機関と協議中のため、町だけでは確定できない。問題点を整

## 町の考えを聞く

### 復興計画

### 災害に強い町づくりを

### そのつもりで計画している

**質問** 今回の大震災を教訓として災害に強い町づくりを進めなければならぬ。その際に災害の検証から始めることは当然であるが、その検証から導き出された計画の具体案をいくつか示せ。

**沼崎町長** 居住地と産業地のすみ分け、高台間道路や避難路の確保など、安全・安心の町づくりに検証が生かされていると思う。

**質問** 今回の大火は不可抗

力であったかも知れないが、消火活動の限界も感じた。今後中心部の道路の幅や市街地のブロック化など、延焼を防ぐ町づくりの必要性を強く感じるが。

**沼崎復興推進課長** 土地区画整理事業で道路幅を確保し、中心市街地に防災広場などを設けて延焼を防止したい。

また、スムーズな避難ができるように避難路の確保に努める。

だけ全ての土地を買い上げて町有地とすれば、区画整理の必要はなくなる。

使いやすい産業地として活用し、希望者には貸し出しもして産業の振興に役立てたい。